

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 実技試験 小学校教員 実施要領

- 1 日 時 令和2年8月23日(日) 8時30分～17時15分
- 2 会 場 さいたま市立浦和大里小学校 さいたま市立浦和別所小学校
- 3 内 容
 - (1) 模擬授業(国語または算数を選択)
 - (2) 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問
- 4 日 程
 - 諸注意・概要説明 8時30分～9時00分
 - 実技試験 9時00分～17時15分
- 5 模擬授業の内容
提示された教材を用いて、模擬授業を7分間実施する。
- 6 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問の内容
 - (1) 指導と支援に関すること
 - (2) 国語又は算数教育全般に関すること
- 7 実施方法

時 間	試 験 内 容	場 所
30分	諸注意・概要説明	控室
10分	模擬授業の準備	準備室
10分	模擬授業 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問	試験室

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験 第2次試験 実技試験【小学校 国語 模擬授業A】


次に示したねらいと展開例を参考にして、模擬授業を行ってください。
 なお、授業の時間は7分間です。(7分経ったら声を掛けます。)
 ※試験員は、児童役ではありません。

1 ねらい

小学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第1節国語の〔第1学年及び第2学年〕2内容〔知識及び技能〕(1)に「言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」とあり、「イ 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。」と示されています。

ここでは、「夏休みの思い出を発表する」という言語活動を通して、「姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと」について指導します。

2 展開例

	○気をつけること ・しせい ・口の大きさ ・声の大きさ ・はつきり話す	夏休みの思い出を話そう あい手につたわる話し方を 考えて、はっぴょうの れんしゅうをしよう。
--	---	---

(板書計画例)

※上記の板書計画例を参考に、発表原稿例を活用しながら、模擬授業を行う。

学習活動	学習内容	○指導上の留意点
本時までに、相手に伝わる話し方について、気を付けること(姿勢、口の大きさ、声の大きさ、はつきり話す)を確認している。また、「夏休みの思い出」について、クラス発表会に向けた発表原稿を児童一人ひとりが作成している。		
1 前時までの学習を振り返る。		○学習課題「夏休みの思い出を話そう」と板書するとともに、それぞれの書いた原稿を確認させながら、思い出を話したいという気持ちが高まる声掛けをする。 ○相手に伝わる話し方の「気をつけること」を確認する。
2 本時のめあてを確認する。		○本時のめあてを板書し、全体で読むよう指示する。
あい手につたわる話し方を考えて、はっぴょうのれんしゅうをしよう。		
3 教師による発表例を聞いて、よい点や改善点を考える。	相手に内容を正確に伝えるためのポイント ・しせい ・口の大きさ ・声の大きさ ・はつきり話す	○姿勢や口形、発声や発音等に関してよい点や改善点がわかりやすいモデルを示し、児童が着目しやすいようにする。 ○児童の発表をもとに、相手に内容を正確に伝えるためには姿勢、口形、発声、発音等に注意することが大切であることを確認する。
※このあと、3の学習活動と同じように児童同士で発表を見合い、アドバイスをを行う。		

※模擬授業が終わった際、「以上で終わりです。」と試験員に告げてください。

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 実技試験【小学校 国語 模擬授業B】

次に示したねらいと展開例を参考にして、模擬授業を行ってください。

なお、授業の時間は7分間です。(7分経ったら声を掛けます。)

※試験員は、児童役ではありません。

1 ねらい

小学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第1節国語の〔第3学年及び第4学年〕2内容〔知識及び技能〕(1)に「言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」とあり、「イ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。」と示されています。

ここでは、「好きな時間を紹介する」という言語活動を通して、「言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと」について指導します。

2 展開例

<ul style="list-style-type: none"> ・ くふうすること ・ 声の調子 ・ 強弱 ・ 間の取り方 ・ 話す速さ 	<p>○くふうすること</p> <p>・ 声の調子</p> <p>・ 強弱</p> <p>・ 間の取り方</p> <p>・ 話す速さ</p>	<p>すきな時間を しょうかいしよう</p> <p>つたえたいことがつたわる 話し方を考えて、発表の 練習をしよう。</p>	<p>(板書計画例)</p>
--	--	--	----------------

※上記の板書計画例を参考に、発表原稿例を活用しながら、模擬授業を行う。

学習活動	学習内容	○指導上の留意点
<p>本時まで、伝えたいことが伝わる話し方について、工夫すること(抑揚、強弱、間の取り方、話す速さ)を確認している。また、「わたしのすきな時間」について、クラス発表会に向けた発表原稿を児童一人ひとりが作成している。</p>		
1 前時までの学習を振り返る。		○学習課題「すきな時間をしょうかいしよう」と板書するとともに、それぞれの書いた原稿を確認させながら、紹介したいという気持ちが高まる声掛けをする。
2 本時のめあてを確認する。		○伝えたいことが伝わる話し方を確認する。 ○本時のめあてを板書し、全体で読むよう指示する。
<p>つたえたいことがつたわる話し方を考えて、発表の練習をしよう。</p>		
3 教師による発表例を聞いて、よい点や改善点を考える。	<p>聞く人に伝えたいことを伝えるための話し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の調子 ・ 強弱 ・ 間の取り方 ・ 話す速さ 	<p>○言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに関してよい点や改善点が分かりやすいモデルを示し、児童が着目しやすいようにする。</p> <p>○児童の発表をもとに、伝えたいことを伝えるためには言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することが大切であることを確認する。</p>
<p>※このあと、3の学習活動と同じように児童同士で発表を見合い、アドバイスをを行う。</p>		

※模擬授業が終わった際、「以上で終わりです。」と試験員に教えてください。

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験

第2次試験 実技試験 小学校 国語 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問例

国語の課題の場合

1 指導と支援に関すること

- (1) 児童の学習意欲を高めるために、どのような工夫をしますか。
- (2) 授業で話をするときには、どのようなことに気を付けますか。
- (3) 言語活動を授業に位置付けるときには、どのようなことに気を付けますか。
- (4) 話すことが苦手な児童に対しては、どのような支援をしますか。
- (5) 書くことが苦手な児童に対しては、どのような支援をしますか。

2 国語教育全般に関すること

- (1) 国語を学ぶ楽しさとは、何だと思えますか。
- (2) 国語の学習を通して、「身に付けさせたい力」とは何ですか。

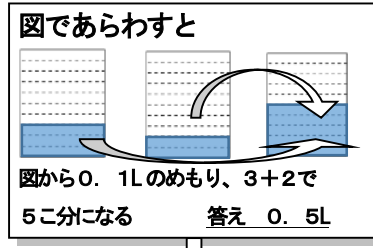
令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験 第2次試験 実技試験【小学校 算数 模擬授業A】

次に示したねらいと展開例を参考にして、模擬授業を行ってください。
 なお、授業の時間は7分間です。(7分経ったら声を掛けます。)
 ※試験員は、児童役ではありません。

1 ねらい

小学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第3節[第3学年]2内容 A数と計算(5)に「小数とその表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」とあり、「ア(イ)1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ること。」と示されています。ここでは、小数の加法の意味について理解し、小数の加法計算ができるように指導します。

2 展開例

学習活動・予想される児童の反応	○指導上の留意点
<p>1 問題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【問題】 牛にゆうが、びんに0.3L、紙パックに0.2L入っています。牛にゆうは合わせて何Lありますか。</p> </div> <p>※ここまでの活動は省略し、問題を黒板に掲示した上で、以下の場面からすぐに模擬授業を始めること。なお、問題文には書き込みをしないこと。</p>	<p>○問題文を掲示し、児童全員に説明をする。</p> <p>○「分かっていること」、「求めること」を確認する。</p> <p>○合わせた量を求める問題だから、加法を活用することを確認し、式に表した上で、児童と話し合いながら課題を明らかにする。</p>
<p>2 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">0.3 + 0.2の計算のしかたを考えよう。</p> </div> <p>3 見通しをもつ。 (例)・小数もたし算で計算できるかな。 ・図や数直線で考えてみよう。 ・小数の意味から考えてみよう。</p> <p>4 自力解決をする。</p> <p>5 グループで話し合う。</p> <p>6 練り上げをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">図であらわすと</p>  <p>図から0.1Lのめもり、3+2で5こ分になる 答え 0.5L</p> <p style="text-align: center;"><u>0.1Lをもとにしている</u></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">小数の意味を考えると</p> <p>0.3Lは0.1Lの3こ分 0.2Lは0.1Lの2こ分 0.3L+0.2Lの答えは0.1Lの3+2で5こ分</p> <p style="text-align: center;">答え 0.5L</p> <p style="text-align: center;"><u>0.1Lをもとにしている</u></p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">どちらの考えも0.1をもとにし、整数の計算をしている。</p> </div>	<p>○課題を確認し、板書をする。</p> <p>○既習事項から疑問点や課題解決に向けた解決方法の見通しをもたせ、板書をする。</p> <p>○児童の考えに適宜説明を加えながら板書し、考え方を確認する。</p> <p>○2つの考え方の共通点(0.1をもとにしていること、整数の計算を行っていること)に気付かせる。</p> <p>○0.1をもとにして、0.1のいくつ分と考えることで既習の計算(整数の加法)で計算できるよさに気付かせる。</p>
<p>7 まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">小数のたし算は、0.1をもとにすると、0.1のいくつ分と考えて、整数の計算を使って計算できる。</p> </div>	<p>○練り上げの内容を基に計算の仕方をまとめる。</p>
<p>8 適用問題を解く。→※模擬授業では、省略する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">次の計算を0.1をもとにして計算しましょう。 1 + 0.1 = 1.1</p> </div> <p>(1は0.1が10こ分、0.1は0.1が1こ分なので、合わせて0.1が11こ分)</p>	

※模擬授業が終わった際、「以上で終わりです。」と試験員に教えてください。

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験 第2次試験 実技試験【小学校 算数 模擬授業B】

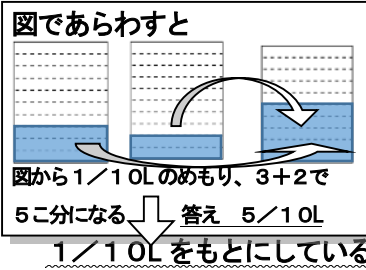
次に示したねらいと展開例を参考にして、模擬授業を行ってください。
 なお、授業の時間は7分間です。(7分経ったら声を掛けます。)
 ※試験員は、児童役ではありません。

1 ねらい

小学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第3節〔第3学年〕2内容 A数と計算(6)に「分数とその表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」とあり、「ア(イ)分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知る。ウ)簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知る。」と示されています。

ここでは、同分母の分数の加法の意味やその計算の仕方について理解できるようにし、簡単な場合として真分数どうしの加法計算ができるように指導します。

2 展開例

学習活動・予想される児童の反応	○指導上の留意点
<p>1 問題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【問題】 牛にゆうが、びんに3/10L、紙パックに2/10L入っています。牛にゆうは合わせて何Lありますか。</p> </div> <p>※ここまでの活動は省略し、問題を黒板に掲示した上で、以下の場面からすぐに模擬授業を始めること。なお、問題文には書き込みをしないこと。</p>	<p>○問題文を掲示し、児童全員に説明をする。</p> <p>○「分かっていること」、「求めること」を確認する。</p> <p>○合わせた量を求める問題だから、加法を活用することを確認し、式に表した上で、児童と話し合いながら課題を明らかにする。</p>
<p>2 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>3/10+2/10の計算のしかたを考えよう。</p> </div> <p>3 見通しをもつ。</p> <p>(例)・分数もたし算で計算できるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数に直せば計算できるはず。 ・図や数直線で考えてみよう。 ・分数の意味から考えてみよう。 <p>4 自力解決をする。</p> <p>5 グループで話し合う。</p> <p>6 練り上げをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>図であらわすと</p>  <p>図から1/10Lのめもり、3+2で5こ分になる。答え 5/10L</p> <p>1/10Lをもとにしている</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分数の意味を考えると</p> <p>3/10Lは1/10Lの3こ分 2/10Lは1/10Lの2こ分 3/10L+2/10Lの答えは1/10Lの3+2で5こ分</p> <p>答え 5/10L</p> <p>1/10Lをもとにしている</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どちらの考えも1/10をもとにし、整数の計算をしている。</p> </div>	<p>○課題を確認し、板書をする。</p> <p>○既習事項から疑問点や課題解決に向けた解決方法の見通しをもたせ、板書をする。</p> <p>○既習の小数の計算を想起させる。</p> <p>○児童の考えに適宜説明を加えながら板書し、考え方を確認する。</p> <p>○2つの考え方の共通点(1/10をもとにしていること、整数の計算を行っていること)に気付かせる。</p> <p>○1/10をもとにして、1/10のいくつ分と考えることで既習の計算(整数の加法)で計算できるように気付かせる。</p>
<p>7 まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分数のたし算は、1/10をもとにすると、1/10のいくつ分と考えて、整数の計算を使って計算できる。</p> </div> <p>8 適用問題を解く。→※模擬授業では、省略する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>次の計算をしましょう。 3/5+1/5=4/5</p> </div> <p>(3/5は1/5が3こ分、1/5は1/5が1こ分なので、合わせて1/5が4こ分)</p>	<p>○練り上げの内容を基に計算の仕方をまとめる。</p>

※模擬授業が終わった際、「以上で終わりです。」と試験員に教えてください。

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験

第2次試験 実技試験 小学校 算数 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問例

算数の課題の場合

1 指導と支援に関すること

- (1) 児童の学習意欲を高めるために、どのような工夫をしますか。
- (2) 発問をする場面では、どのようなことに気を付けますか。
- (3) 児童に「見通しをもたせる」場面では、どのようなことに気を付けますか。
- (4) 「練り上げ」の場面では、どのようなことに気を付けますか。
- (5) 今日のような課題で、自力解決が困難な児童に対してはどのような支援をしますか。
- (6) 適用問題では、どのようなことに気を付けますか。
- (7) 導入場面では、どのようなことに気を付けますか。

2 算数教育全般に関すること

- (1) 算数を学ぶ楽しさとは、何だと思いますか。
- (2) 算数の学習を通して、「身に付けさせたい力」とは何ですか。
- (3) 数学的に考える資質・能力を育成するために必要なことは何だと思いますか。